

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
71	6/15	<p>【旭山動物園ご当地ナンバープレート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旭山動物園ご当地ナンバープレートをつくり、旭山動物園のPRとともに、ナンバープレートの売上げの一部を動物園に寄附</li> </ul> <p>【ここでしかないPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旭山動物園内に結婚や他の記念日などの撮影スポットを設置</li> </ul>	旭山動物園	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭山動物園をモチーフにしたご当地ナンバープレートにつきましては、旭山動物園のPR方法の一つとして参考にさせていただきます。</li> <li>園内には既に撮影スポットとなるモニュメント等を複数設置しており、これらのモニュメントは、獣舎新設の際に工事の一部として設置したものと寄附を受けて設置したものです。</li> <li>御提案にあります特別な日の記念写真となることを踏まえ、幸福感や特別感の感じられる背景デザインや設置場所などとする必要があるほか、屋外設置が想定されることから、高い耐久性も求められます。</li> <li>以上のことから、新撮影スポットの設置に当たっては、費用の捻出方法や今後の施設整備計画を踏まえ、モニュメント設置以外の方法（モニターの設置など）も含めた幅広い検討を行います。</li> </ul>
			観光課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭山動物園では、新規施設のオープンなどの最新情報は、本市の観光コンテンツの目玉として積極的にPRを行ってまいりました。</li> <li>今後も、撮影スポット等の誘客につながること・ものについて観光スポットづくりの観点から、関連部局に働き掛けていくとともに、これらが新設された場合には積極的なPRに取り組みます。</li> </ul>
			市民課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、市職員とプロのデザイナーで構成する、住民票等交付用紙のデザイン変更プロジェクトが進行中です。婚姻届受理証明書（大）のデザインを変更する場合は、このプロジェクトで決定するデザインのコンセプトやテーマに沿ったものとするため、プロジェクト終了後に着手いたします。</li> <li>また、大きなライフイベントである結婚を祝福するため、婚姻届を提出された方に、有料の証明書とは別様式で、記念品として贈呈することも併せて検討いたします。</li> </ul>

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
72	7/5	<p>【障がい児から高齢者まで一緒に学び楽しめる「誰もが暮らしやすいまちづくり」事業の推進について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの有無、性別、国籍などに関わらず地域内外の方達とふれ合い、成長することを目的に、障がいのある子どもが楽しみながら体験できるパラスポーツやバリアフリーイベントを継続開催したい</li> </ul>	障害福祉課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催事業として継続的に実施している「障害者スポーツ教室」において、パラスポーツの体験教室を行っており、障がいのある大人から子どもまで参加することが可能です。地域の方もボランティアとして参加することで交流を深められる機会となっております。</li> <li>・また、パラスポーツ体験ができるバリアフリーイベントにつきましては、学校や企業に出向して行う「福祉出前講座」において、ポッチャを体験することができ、障がいに関わらず参加可能です。今後も、地域型SSTを推進し、パラスポーツ体験の機会を確保いたします。</li> </ul>
			スポーツ課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ課では以前より、障がい者スポーツの推進につきまして本件の提案者や「旭川パラスポーツ」r.メンバーズ」と意見交換や事業協力を行っております。</li> <li>・御提案のイベントにつきましては、既存のイベント（市民スポーツの日等）を活用してパラスポーツ体験や交流の場を設けられるよう、現在市内パラスポーツ関係団体等と連携、情報交換を行っております。</li> <li>・今後もイベントに限らず関係団体と情報交換等を行いながら、パラスポーツの推進、環境の充実に取り組みます。</li> </ul>
73	9/20	<p>【交通と観光施策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のバスを待つマナーが悪いので改善啓発をするべき</li> <li>・路線バスにおける全国的な交通系ICカードの導入や、バス停に観光地名を盛り込むなど、観光都市を見据えた取組を行うべき</li> <li>・ロータリーのローカルルールを改めるべき</li> </ul>	観光課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、公共交通機関や観光関連団体などで構成された「旭川路線バス観光利用促進協議会」が、観光用バス乗車券の「あさくるパス」を発行しております。</li> <li>・「あさくるパス」は旭川市内での乗降であれば、一部の区間を除いて路線バスを乗り放題で利用できる乗車券で、1日券と2日券の2種類を観光案内所や宿泊施設等での販売に加え、携帯端末にアプリをダウンロードすることで利用できるモバイルチケット形式でも販売しております。また、旭川市旭山動物園などの観光スポットの入場料を割引するなどの特典もついており、お得にバスで市内を周遊できます。</li> <li>・なお、外国人観光客でも簡単に御利用いただけるよう英語版の案内パンフレットを制作し、観光案内所等で御案内しているほか、券面には英語の併記を行っております。</li> </ul> <p>今後もより多くの方々に御利用いただけるよう周知を図ります。</p>

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
73	9/20	<p>【交通と観光施策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のバスを待つマナーが悪いので改善啓発をするべき</li> <li>・路線バスにおける全国的な交通系ICカードの導入や、バス停に観光地名を盛り込むなど、観光都市を見据えた取組を行うべき</li> <li>・ロータリーのローカルルールを改めるべき</li> </ul>	都市計画課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの待ち合いにつきましては、広い歩道などではラインを引くことで利用者の整列を促しておりますが、モラル啓発につきましてはバス停やバス車内でのポスター掲示、高齢者を対象とした公共交通に関する出前講座など、バス事業者と協力しながら進めます。</li> <li>・路線バスにおける全国版交通系ICカードの導入につきましては、利用環境の整備に莫大な経費が必要となるため、バス事業者からは難しいことを伺っております。</li> <li>・また、現在のICカードは、1枚当たり約1,000円の製作コストがかかっていることから、利用者には長く利用いただきたい意向があることや、新たなデザインカードを用意する場合には、数千万円のコストが必要になるため、バス事業者としては、ICカードを記念やお土産などとして提供することには課題があると認識しております。</li> <li>・観光客に向けた路線バスの利便向上施策としては、旭川電気軌道株式会社及び道北バス株式会社のバスの定額乗り放題チケット「あさくるバス」を発売しており、モバイルチケット版ではスマートフォンでの利用や、クレジットカードによる決済も可能なため、観光客に対するさらなる周知についてバス会社とともに検討を続けます。</li> <li>・バス停の名称につきましては、最近では「青い池」バス停の追加や、「上川ヌクモ前」、「スタルヒン球場前」等、利用者の意見や要望を聞きながら、バス事業者が最寄りの観光地や施設に対応したバス停名称への変更を適宜行っております。</li> <li>・旭川駅周辺では、QRコードを活用した主要な観光施設へのバス案内板を設置しております。</li> <li>・また、バスロケーションシステムである「バスキタ！旭川」では、バス停、便等の一括検索や、「Googleマップ」との連動により、地図上のバス停から行き先や運行状況が分かる取組を行っております。</li> </ul> <p>今後、このような便利なシステムの周知について積極的に進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロータリーにつきましては、所管する北海道開発局とも共有しながら、御提案について今後の取組の参考とさせていただきます。</li> </ul>

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
74	10/7	【河川を活用したまちづくりについて】 ・川に季節に応じた魚の放流，セグウェイで釣りポイントの移動ができるようにしてほしい	土木総務課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市において，河川空間は冬まつりなどイベントの開催や野球，パークゴルフなどを行う運動公園としての利用のほか，散策やサイクリングなど，多くの方に利用されている都市部に隣接した自然空間であり，まちづくりにおいて重要な空間です。</li> <li>・御提案にある魚釣りをされる方は市内外に多くおりますので，集客の要素として期待できる一方，サケの遡上の取組や自然環境の保全に取り組んでいる方も多くいることから，釣りスポットの発信などの取組を進めるためには，様々な調整が必要となります。</li> <li>・このため，有識者や関係団体などの声を聞きながら，河川管理者と協議等を行い，御提案の魚釣りに係わる取組の可能性について検討を進めます。</li> </ul>
			地域振興課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の大きな魅力である，充実した都市機能と「川のまち旭川」と呼ばれる豊かな自然環境の調和という優れた地域特性発展のため，国の支援制度活用を図るべく「旭川駅周辺かわまちづくり計画」の策定に向けて取組を進めております。</li> <li>・旭川駅の南側を拠点に，自然環境に配慮しつつ水辺空間を活用することで，全道サイクリングルート of 展開や，ラフティングといったアクティビティの推進，旭山動物園，科学館，博物館などの地域特有の観光・教育資源との有機的な連携により，更なるまちの活性化に繋がたいと考えております。</li> <li>・河川空間，水辺空間の利活用の周知を図ることで，民間事業として，移動手段・観光客向けのモビリティレンタル事業や釣りをアクティビティのひとつとした，観光振興等の検討がなされていくものと考えております。</li> </ul>

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
75	10/11	<p>【旭川駅前通りの活性化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買物公園の活性化のため、歩行者天国を廃止し、駐車可能な車道もしくは、土日の駐車禁止を解除してほしい</li> <li>・商店街の集客のため、付近に無料駐車場をつくってほしい</li> </ul>	地域振興課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の平和通買物公園は歩行者専用道路であり、車両通行は原則禁止ですが、令和4年6月1日に開設50年を迎え、買物公園を軸とした中心市街地の在り方が一層重要になる中、新しい流れや変化を起こすため、市民や関係団体を交え、まちなかの活性化策について議論する場を令和5年度以降に設けたいと考えております。</li> <li>・今後の中心市街地の活性化に当たっては、「目的地が増えること」「移動手段など来街しやすくなること」が必要であり、人々の面的な動態状況や来街動機を把握し、歩行者専用道路におけるニーズの変化も今後の課題の一つとして整理してまいります。</li> </ul>
76	11/14	<p>【デパートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川にも買い物ができるデパートがほしい</li> </ul>	経済交流課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御提案にあるデパート等の大型商業施設の出店には、民間事業者が集客見込みや採算性などを十分に検討する必要があります。</li> <li>・引き続き、本市が有する都市機能などのPR等を通じて事業者が出店しやすい環境づくりのための方策を検討いたします。</li> </ul>
77	11/14	<p>【受付受領等の控え発行について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援医療機関変更の手続きなど、手続きをしたことを証明できる控えを電子発行してほしい</li> </ul>	障害福祉課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援医療制度の利用に係る医療機関の対応につきましては、北海道が定める要綱の規定により、仮に医療機関が控え等を確認した場合でも、その時点では自立支援医療制度を利用することはできないことから、あえて控え等を発行しておりませんでした。</li> <li>・今回の御提案を受け、控え等が手続をされた方自身の安心にもつながることを踏まえて検討した結果、受付印を押印した控え等を窓口で申請手続をされた方に発行することといたしました。</li> <li>また、WEB申請につきましては、本市でも課題の一つと認識しており、導入を検討するよう北海道に求めてまいります。</li> </ul>

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
78	11/14	<p>【保育人材総合支援センターの設立について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育施設の人材確保、保育者のコミュニティの場などとして活用できる支援センターを設立し、街の活性化につなげる</li> </ul>	こども育成課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市で実施している保育士確保事業につきましては、進学就職説明会、保育士体験ツアー、保育士宿舍借り上げ支援、子育て支援員研修、再就職支援研修、保育士資格取得支援等、様々な事業を行っております。</li> <li>しかし、保育現場では未だ保育士の数が十分とは言えず、適切な保育を安定的に供給するためには、現在実施している保育士確保事業の継続・強化と同時に新たな事業の検討も必要であると考えます。</li> <li>・頂いた御意見は、新たなシステムによるコミュニティの創設など新しいアプローチであり、今後の保育士確保事業の参考とさせていただきます。</li> </ul>
79	11/14	<p>【人が集まる街づくりについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅の場所の変更、駐車場の確保、商品の充実など、人が集まる工夫をしてはどうか</li> </ul>	経済交流課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の道の駅では現在、地場産品を販売する売店やご当地グルメが味わえるフードコート等を設置して本市を中心とした圏域の食や文化の魅力を発信しているほか、大規模なイベントが開催できる展示場を利用して特産物や雑貨などの販売会や展示会、イベント等が多数開催され、老若男女が市内外から訪れる場所として定着しております。</li> <li>・一方で、道の駅に新しい機能を求める御意見をいただくことが近年多くなっていることから、施設を管理・運営している（一財）道北地域旭川地場産業振興センターと情報を共有し、より多くの方に訪れていただける道の駅を目指し具体的な方策を検討いたします。</li> </ul>
			土木総務課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな道の駅を整備する場合、国道等の主要幹線道路に面した場所や、十分な容量の駐車場が確保できる場所など、市民や観光客が利用しやすいような場所の選定が基本になると考えており、さらに既存の道の駅「あさひかわ」とのコンセプト等の差別化などを図る必要があります。</li> <li>・御提案の「人が集まる道の駅」を目指すことは、新たな道の駅を整備する際に重要な要素の一つと考えており、令和5年度に実施予定のアンケート調査により、市民等のニーズを把握し、設置場所やコンセプト等の検討に反映したいと考えております。</li> </ul>

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
80	11/14	<p>【樹木葬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木葬ができる場所を作ってほしい</li> </ul>	市民生活課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、お墓を引き継ぐことに不安を感じている方や、価値観の多様化などに対応するため、旭川市共同墓（複数の焼骨等を共同で収蔵する施設）を平成30年9月に設置しております。</li> <li>・近年は、葬送の方法の一つとして、樹木葬ができる施設が様々な形式で整備されてきていると聞いておりますが、広くは合葬式の施設に含まれるものと考えており、本市では共同墓の利用状況や市民ニーズの把握などを進め、本市に合った施設の在り方を検討いたします。</li> </ul>
81	12/6	<p>【性自認の問題について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性の多様性に関する政策を検討する際、性自認の概念や解釈などについて慎重に考えてほしい</li> </ul>	女性活躍担当	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性の多様性に関する施策につきましては、様々な方の意見を聞き十分な議論をするなど、慎重に検討を進めます。</li> </ul>
82	12/7	<p>【ワンストップ窓口について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口の手続きをワンストップ化してはどうか</li> </ul>	市民課	実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見のとおり、窓口における利便性向上は重要と考えており、令和5年11月の新庁舎建設に併せて、総合窓口を設置し、低層階で多くの手続に対応できるよう検討を進めております。</li> <li>・ワンストップ窓口を進めている北見市の優れた点を取り入れるため、関係職員が北見市の窓口を視察しており、現在、最高デジタル責任者（CDO）の助言を受けながら、窓口手続の業務フローを作成し、利用者の動線などについて分析を行っております。利便性の向上が図られるよう、さらに検討を進めます。</li> </ul>
83	12/9	<p>【土地の相続登記推進について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産税が免税点未満で、自身が土地所有者（相続人）であることを把握していない可能性のある方に書類を代行送付してほしい</li> </ul>	資産税課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産税が免税点未満の方につきましても税情報の守秘義務が発生することから、税務部局以外への情報提供は法令により限定されております。</li> <li>・また、調査費用を御負担いただくとともに、御用意いただいた封筒を使用し本市が代行して対象者へ書類を送付することは、税情報の目的外使用となるため、実施不可と判断いたします。</li> <li>・なお、令和5年4月1日施行の「所有者不明土地・建物の管理制度」により、調査を尽くしても所有者やその所在を知ることができない土地・建物について、利害関係人が地方裁判所に申し立てることによって、その土地・建物の管理を行う管理人を選任してもらうことができるようになることから、調査方法の手段としてこちらの制度の御利用も御検討ください。</li> </ul>

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
84	10/27	【旭川まるごとキッズニア計画について】 ・子ども達の仕事への興味関心を育み、将来市内で働く人材を増やすため、市内企業の見学、仕事体験等を行う	子育て支援課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、将来を担う子どもたちの健やかな成長と夢や希望を応援するため、働くことの意義や喜び、大切さを体験してもらうことを目的に、平成23年度から小学3・4年生を対象とした職業体験事業「あさひかわキッズタウン」を開催しております。</li> <li>・今年度は11月19日に道北地域旭川地場産業振興センターで開催し、主に市内を拠点とする21の企業・団体から23の体験ブースを出展いただき、参加者自らが選択した体験ブースにおいて様々な職業体験を行いました。</li> <li>・御提案につきましては、現行の「あさひかわキッズタウン」をベースに、参加対象年齢の拡大、出展者数の増加、また実施会場や実施回数の変更等を検討しながら、次年度以降も継続して事業を実施してまいります。</li> </ul>
			教育指導課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川市教育委員会におきましては、教育活動に協力いただける企業や施設、地域人材を整理した「あさひかわ子どもの学び施設リスト・あさひかわ子どもの学び人材リスト」を作成し、各学校におきましては、本リスト等を活用し、小学校では市内の企業見学、中学校では職業体験の実施など、学校の実情に応じた取組を進めており、今後も取組を継続してまいります。</li> </ul>
			経済総務課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生を対象に地元企業への理解を深め、職業選択の幅を広げることなどを目的とした企業説明会を今後も継続してまいります。また、インターンシップにつきましても旭川圏トライアルワーク推進協議会での実施が終了するため、市での事業継続に向けた検討を進めております。</li> </ul>



令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
85	11/1	<p>【平和通買物公園の活性化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平和通買物公園の空店舗解消のため、首都圏や関西圏等広く周知し、出店者には税控除、住居相談等の優遇措置を行う</li> <li>移住促進や観光客誘致のため、首都圏の電車等に、北彩都ガーデンのポスターを掲示する</li> <li>マルカツデパートを一旦市で取得し、跡地利用の促進を図る</li> </ul>	経済交流課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在本市では、中心市街地への出店を促進するため平和通買物公園を含む中心市街地の空き店舗を賃借し出店する方を対象に、家賃の一部を補助する「旭川市中心市街地出店促進補助金」制度を運用中です。</li> <li>市外から移住し、出店する方も対象となるため、今後は移住相談時に情報提供するなど、さらに広く周知する方策を模索してまいります。</li> </ul>
			地域振興課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和通での出店を希望する移住希望者がいる場合には、担当部局との連携を図りながら、出店に係る補助制度の案内を行ってまいります。</li> <li>移住相談におきましては、パンフレット等の広報媒体を通じ、市内の充実した公共交通機関や自家用車を所有しない生活スタイルに触れるなど、まちなかへの居住を含めPRを行っております。また、居住に係る相談につきましては、民間事業者と連携しながら賃貸物件情報の提供を行っております。</li> <li>マルカツデパートにつきまして、閉店による土地建物の未活用が続くことは、中心市街地の賑わい低下に影響を与えることから、今後とも所有状況や管理状況を注視してまいります。</li> </ul>
			公園みどり課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> <li>あさひかわ北彩都ガーデンは、旭川駅に隣接した空間でありながら豊かな自然が広がるすばらしい環境を生かし、市民はもちろん、市外から旭川へ来る方々にも親しまれ楽しめるガーデンとして整備を進めてまいりました。</li> <li>ガーデンを広く知ってもらう取組としては、PR映像や画像を作成し、旭川市ホームページのほか、海外向けPRサイトやブログ、インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブ等の映像媒体でガーデンの様子を紹介しており、紙媒体としては、パンフレットを作成し多くの窓口で配布しているほか、旅行雑誌等にも掲載されております。</li> <li>また、全国ガーデンフェスタや花フェスタ等の各種イベントに参加しガーデンのPRを行ったほか、大雪森のガーデンなど他のガーデン施設と連携したPRも行っております。さらに、テレビ番組の撮影場所として今年は6番組で放送され、全国にガーデンを紹介していただきました。</li> <li>今後もより効果の高い宣伝手法を検討し、多くの観光客の方に訪れていただけるよう努力してまいります。</li> </ul>

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
86	11/14	<p>【旭川駅について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旭川駅を世界で最も美しい駅として宣伝し、観光客の誘致につなげる</li> </ul>	地域振興課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR旭川駅は、平成26年度に「北海道赤レンガ建築賞」を受賞、またJR旭川駅を含む北彩都あさひかわ地区は、平成27年度に日本都市計画学会計画設計賞、都市景観大賞「都市空間部門」大賞(国土交通大臣賞)、土木学会デザイン賞最優秀賞を受賞するなど、専門家から高い評価を得ております。</li> <li>地方公共団体である本市から、JR旭川駅を「世界で最も美しい駅」と公式に宣伝することは難しいと考えますが、御提案のアイデアも参考にさせていただき、今後も駅舎や北彩都あさひかわ地区の高い評価を市内外に伝えていくとともに、JR旭川駅をはじめとする各種基盤を有効活用し、中心市街地の恒常的な賑わいづくりにつなげてまいります。</li> </ul>
87	11/28	<p>【JR北海道の車両座席について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両の座席配置を通路向き着席の座席から車両前後向きの座席に変更するよう提言してはどうか</li> </ul>	都市計画課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR北海道に確認したところ、新型車両737系の導入目的はラッシュ時の混雑緩和であり、この目的のためにロングシートを採用したとのこと。既存のキハ143系の定員が2両編成で244名のところ、737系電車は2両編成で269名となっています。バリアフリー対応のトイレの面積が増加していますが、ロングシートを採用し、立席空間が増加したことで、定員自体が増加し、ラッシュ時の混雑緩和に寄与することです。</li> <li>御提言のとおり、鉄道の利用を促進するために、北海道やJRとも連携しながら、鉄道に乗ること自体の魅力を高める取組を進め、鉄道の維持・確保に努めてまいります。</li> </ul>